

ときめきによる女性の表情と魅力の変化

Facial expression of women more attractive when experiencing *TOKIMEKI*

河島三幸¹⁾、設楽茉莉絵²⁾、阿部恒之²⁾

Misaki KAWASHIMA¹⁾, Marie SHITARA²⁾, Tsuneyuki ABE²⁾

E-mail : kawashima.misaki@kanebocos.co.jp

和文要旨

「ときめき」はポジティブ方向への気分変化や心臓活動促進の自覚を特徴とする感情用語であり、ときめいている時は表情が明るくなるなど、表情の好ましい変化の自覚を伴うことが確認されている。また、一般には「ときめくときれいになる」と言われており、ときめきは表情の魅力が好転させることが推測される。しかし、ときめきの喚起に好ましい表情への客観的変化が伴うかは確認されていない。そこで本研究ではときめきという心理現象理解の一環として、ときめき喚起時の表情が他者によって魅力的に評価されるかに着目した3つの実験を行った。まず、2種の男性の映像（ときめき喚起映像 / ときめき非喚起映像）を視聴する女性の表情変化を動画撮影し、実験刺激画像を作成した。実験1ではときめき喚起映像視聴時の表情とときめき非喚起映像視聴時の表情を呈示し、ときめき喚起映像視聴時の表情がときめき非喚起映像視聴時の表情と比較してときめいている時の表情として区別されるかを検討した。実験2ではこの2つの表情の魅力を対比較法によって比較した。実験3ではこの2つの表情の形態的特徴の違いを検討した。その結果、ときめき喚起映像視聴時の表情は、ときめきを感じている時の表情として明確に判別され、魅力的であることが示された。また、ときめき喚起映像視聴時の表情は「口角・ほほが上方に引き上げられる」「目が細くなる」などの形態的変化が伴うことが示された。

キーワード：感情、表情、魅力、ときめき

Keywords : emotion, facial expression, attractiveness, *tokimeki*

1. 緒言

日本において「ときめき」「ときめく」という感情用語は日常的に多用されている。例えば読売新聞には、20年間で225件の「ときめき」に関連する記事が載せられている（『ヨミダス歴史館』において1990年1月1日～2010年12月31日の期間で「ときめき」をキーワード検索）。このように日常的に多用されるとときめきは、日本の文化において重要な概念として位置づけられていると考えられるものの、ときめきという感情現象に関する心理学的研究はこれまでほとんど行われていない。

この点に着目した我々は、ときめきという感情現象の理解の一環として、ときめきが日本におい

て一般にどのように認識されているかについての調査を行った[1],[2]。その結果、8割以上の男女が人生においてときめきを感じた経験があること、9割以上の男女がときめきを「必要 / どちらかといえば必要」と考えていることが明らかとなり、日本においてときめきが重要な概念として認識されていることを確認した。また、日本人が感じるときめきの特徴として以下の三点を見出した[2]。第一の特徴は、ときめきはポジティブな方向への気分の変化と心臓活動促進の自覚を伴うこと、第二の特徴は、ときめきを感じる対象として多くを占めるのは異性（男女とも6割以上）であること、そして第三の特徴として、ときめきを感じた当事者は表情のポジティブな方向への変化

¹⁾ 株式会社カネボウ化粧品メイクアップ研究所、Make-up Research Laboratory, Kanebo Cosmetics Inc.

²⁾ 東北大学大学院文学研究科、Graduate School of Arts and Letters, Tohoku University